

13 弦管打楽器ソリスト・コース

教育目標 コンチェルトをはじめとするさまざまなジャンルの演奏技術、解釈を学び、それぞれの楽器のソリストに必要なレパートリーを身につけ、各種オーディション、コンクールに入賞する演奏能力を身につける。

募集人数 若干名

カリキュラム表

授 業 科 目	履修費 ランク	セメスター				コース 最低修得 単位数	備 考		
		第1	第2	第3	第4				
コース必修	専門研究	管弦楽	B	2			8(0)	弦必修、管打は選抜者のみ	
	管弦楽	B		2					
	管弦楽	B			2				
	管弦楽	B				2			
	特別研究	特別レッスン	A	4			16		
	特別レッスン	A		4					
	特別レッスン	A			4				
	特別レッスン	A				4			
	実技	弦管打実技A	B	1			4		
		弦管打実技A	B		1				
		弦管打実技A	B			1			
		弦管打実技A	B						1
その他	管弦楽法B	B	1			2			
	管弦楽法B	B		1					
コース推奨	専門研究	管弦楽特別演習	B	2			履修を許可された者のみ履修可		
		管弦楽特別演習	B		2				
		管弦楽特別演習	B			2			
		管弦楽特別演習	B						2
	吹奏楽	吹奏楽	B	2			管打、コントラバス、ハープ履修可		
		吹奏楽	B		2				
		吹奏楽	B			2			
	専門講義	室内楽史A	C	2					
		室内楽史B	C	2					
		管弦楽史A	C	2					
		管弦楽史B	C	2					
	特別研究	室内楽	A	4					
室内楽		A		4					
室内楽		A			4				
室内楽		A				4			
その他	室内楽作品研究A	B	2			弦のみ履修可			
	室内楽作品研究B	B	2						
	管楽器作品研究	B	2						
	弦楽器作品研究	B	2						
	アンサンブル	B	2						
	アンサンブル	B		2					
	アンサンブル	B			2				
	アンサンブル	B						2	
	オーケストラ・スタディ	B	2						
	オーケストラ・スタディ	B		2					
	オーケストラ・スタディ	B			2				
	オーケストラ・スタディ	B						2	

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、「特別レッスン協」の評価A以上

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

出願期間 平成22年10月12日(火)～10月15日(金)9:00～16:30

出願手続 出願料を経理課窓口へ直接納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課へ直接提出すること。本学在学学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

出願書類 1. アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)・受験票(B)
2. 写真2枚 3×3cm
3. 卒業(見込)証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

出 願 料 10,000円

試験科目 弦管打演奏試験

又は 別記「課題曲一覧表」参照

課題曲

国立音楽大学4年在学中で、現在弦管打楽器ソリスト・コースを履修している者は面接試験のみとする。

試験日 11月6日(土)～11月25日(木)の期間内

合格発表 12月3日(金)10:00 教務課掲示板。

ただし、卒業見込み者が卒業できなかった場合には、合格を取り消す。

合格後の手続 合格者は、手続要項にしたがって決められた期日までに

(1)誓約書、(2)学生台帳、(3)写真3枚を提出すること。

また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの履修説明会が開かれるので、必ず出席すること。

< 課題曲一覧表 >

13. 弦管打楽器ソリスト・コース

・伴奏はピアノ伴奏のみとし、伴奏者は応募者が同伴すること。

【ヴァイオリン】

(1)、(2) から各 1 曲の 2 曲を選び暗譜で演奏する。

平成 22 年度国立音楽大学卒業見込者は、卒業試験曲目と重複しないこと。

(1) バガニーニ：24 の奇想曲 より 任意の 1 曲

(2) ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品 61 より 第 1 楽章
(ヨアヒム又はクライスラーのカデンツァ)

チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品 35 より 第 1 楽章

ブラームス：ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品 77 より 第 1 楽章
(ヨアヒムのカデンツァ)

シベリウス：ヴァイオリン協奏曲 二短調 作品 47 より 第 1 楽章
バルトーク：ヴァイオリン協奏曲 第 2 番 より 第 1 楽章

【ヴィオラ】

下記の 3 曲から任意の 1 曲を選び、暗譜で演奏する。

ブラームス：ヴィオラ・ソナタ ヘ短調 作品 120-1

ブラームス：ヴィオラ・ソナタ 変ホ長調 作品 120-2

ヒンデミット：ヴィオラ・ソナタ ヘ調 作品 11-4

【チェロ】

A、B 群からそれぞれ任意の 1 曲を選び、暗譜で演奏する。

[A 群]

J. S. バッハ：無伴奏チェロ組曲第 2 番～第 6 番より 任意のプレリュード

[B 群]

ハイドン：チェロ協奏曲 第 1 番 八長調より 第 1 楽章

ハイドン：チェロ協奏曲 第 2 番 二長調 作品 101 より 第 1 楽章

ドヴォルザーク：チェロ協奏曲 口短調 作品 104 より 第 1 楽章

シューマン：チェロ協奏曲 イ短調 作品 129 より 第 1 楽章

エルガー：チェロ協奏曲 ホ短調 作品 85 より 第 1・2 楽章

【コントラバス】

下記の 3 曲から任意の 1 曲を選び、暗譜で演奏する。

クーセヴィツキー：コントラバス協奏曲

ヴァンハル：コントラバス協奏曲

ディッターズドルフ：コントラバス協奏曲 ホ長調

【ハープ】

(1) を 1 曲及び (2) より 1 曲の計 2 曲を暗譜で演奏する。

(1) 5 分程度の古典曲

(C. P. E. バッハ作曲『ソナタ』の 1 楽章、ヘンデル作曲『協奏曲』の 1 楽章、J. S. バッハ作品のルニエ編あるいはグランジャンニー編等)

(2) フォーレ：アンブロンプチュ

サルツェード：古代様式の主題による変奏

ルニエ：レジェンド

ダマーズ：シチリア変奏

ヒンデミット：ソナタ

グランジャンニー：ラブソディー

【フルート】

次の課題曲を (1)(2) の順に暗譜で演奏する。

(1) モーツァルト：フルート協奏曲 ト長調 K. 313

(2) 自由曲 (無伴奏曲も可)

【オーボエ】

次の課題曲と自由曲 (無伴奏曲も可) の 2 曲を暗譜で演奏する。

モーツァルト：オーボエ協奏曲 八長調 K. 314

【クラリネット】

次の課題曲(1)、(2)のうち任意の1曲と自由曲(無伴奏曲も可)の2曲を暗譜で演奏する。

- (1) モーツァルト：クラリネット協奏曲 イ長調 K. 622
- (2) ドビュッシー：クラリネットのための第一狂詩曲

【サクソフォーン】

次の課題曲と自由曲(無伴奏曲も可)の2曲を暗譜で演奏する。

グラスノフ：サクソフォーン協奏曲

【ファゴット】

次の課題曲(1)、(2)のうち任意の1曲と自由曲(無伴奏曲も可)の2曲を暗譜で演奏する。

- (1) モーツァルト：ファゴット協奏曲 変ロ長調 K.191
- (2) ウェーバー：ファゴット協奏曲 ヘ長調 作品 75

【ホルン】

次の課題曲と自由曲(無伴奏曲も可)の2曲を暗譜で演奏する。

モーツァルト：ホルン協奏曲 第4番 変ホ長調 K.495

【トランペット】

次の課題曲と自由曲(無伴奏曲も可)の2曲を暗譜で演奏する。

J. ハイドン：トランペット協奏曲 変ホ長調

【トロンボーン】

次の課題曲と自由曲(無伴奏曲も可)の2曲を暗譜で演奏する。

テナートロンボーンの場合

ヒンデミット：ソナタ 演奏箇所は当日指定

バストロンボーンの場合

アルビノーニ：ソナタ ヘ長調 第2楽章まで

【ユーフォニアム】

次の課題曲と自由曲(無伴奏曲も可)の2曲を暗譜で演奏する。

J. ホロヴィッツ：協奏曲(Novello)

【チューバ】

次の課題曲と自由曲(無伴奏曲も可)の2曲を暗譜で演奏する。

R.ヴォーン・ウィリアムズ：チューバ協奏曲(Oxford University Press)

【打楽器】

次の(1)または(2)を選択し、暗譜で演奏する。

(1) ジョリヴェ：打楽器とオーケストラのための協奏曲

(2) 次の を両方演奏する。

クレストン：マリンバとオーケストラのための協奏曲

デルクルーズ：12のエチュード(小太鼓のための)

* は1~4の中から当日1曲指定。

* に限り暗譜は任意とする。